白岡八幡さま

白岡八幡神社の令和三年初詣は
新型コロナウイルス感染拡大を防止して

発　行
白岡八幡神社
〒349-0218
埼玉県白岡市白岡 889
社務所
TEL.0480-48-5118
『ホームページ』
shiraoka-hachimanjinja.or.jp/
白岡八幡神社　検索
「白岡八幡神社」で検索

青空に映える白色の本殿

まもなく令和三年のお正月が来ますが、皆様は毎年お正月をどのようにお過ごしでしょうか。

白岡八幡神社の周辺では新しい住居が増え続けており、新旧の多くの世帯が生活しています。この地に生まれそのままお住まいの方や、縁あってこの地に移り住みいつか長く住み続けている方や、一方最近引越してきて新生活を始めた方がいます。

それぞれ世代や出身など違いますが、お正月にはそれぞれ「地元の神社にご挨拶しよう」と、大勢の方が白岡八幡神社を訪れています。

一月一日深夜零時、かがり火の中、本殿で大太鼓が鳴り響き初詣が始まります。

それから正月三が日、早朝から夕刻まで参拝の列が長く続きます。お正月の参拝者は三万名を超えると推定されています。

参拝後は、お札、破魔矢、お守りを求める窓口や、新年の運勢を占うおみくじのテントが賑わいます。

白岡八幡神社では、皆様の参拝がつつがなくありますように

新型コロナ禍、感染させない 感染しない

と心がけてきました。当神社総代会・世話人会、婦人部、青年部が、年末大祓いと大晦日に、参道・境内の清掃を行い、大幟紅白幕、注連縄、鈴緒、手水舎賽銭箱などの準備をし、明けて三が日には、お札など授予品の窓口や、おみくじ、ご神酒、甘酒のテント、駐車・駐輪場整理や交通整理を分担してきました。

白岡八幡神社ではこれから令和三年の初詣の準備に入りますが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況は今なお予断を許しません。埼玉県の患者発生数も多数です。

当神社は、総代会・世話人会の「祭典委員会」を開き、令和三年初詣における新型コロナウイルス感染対策について次の事を決め、年末・年始に向けて具体的に準備を進める事としました。

拝殿前に並ぶ大勢の参拝者

一、鳥居から参道
参拝の導線をスムーズにします。
マスクの着用をお願いし、大声での会話を控えて頂きます。

二、手水舎
柄杓を使わないこととします。

三、拝殿前
鈴緒を取り外します。

混み合うおみくじのテント

四、授与品（お札、破魔矢、お守り等）
混雑を避けるため社務所のほかテントを張り臨時授与所を設けます。
手指消毒をお願いします。

五、おみくじ
テントで取り扱いします。
くじを引く前後の手指消毒を徹底します。

六、甘酒・ご神酒
コロナ対策のため中止します。

以上お知らせし、ご理解とご協力をお願いします。

◇神職雑感

新型コロナウイルス感染症のため、人々が一堂に集まることが出来ず、春の例大祭、夏越の大祓い、秋の例大祭は、規模を縮小して執り行いました。

先人たちが大切に守り伝えてきた行事を絶やすことができませんので、今後も恒例通り神事を斎行する予定です。

来年こそは、コロナが収束し良き歳となり、東京オリンピック・パラリンピックが開催されますよう祈念します。

禰宜　野原朋之

氏子崇敬会

◆新会長ご挨拶

去る十月十八日(日)、白岡八幡神社秋季大祭「新嘗祭」が執り行われました。

新型コロナ感染症禍の中、総代会と世話人会並びに氏子崇敬会役員により大幟旗・崇敬会幟旗の掲揚及び燈籠の設置を行い五穀豊穣を感謝すると共に新型コロナの感染終息と皆様のご健康をご祈願申し上げた神事が無事執り行われた頃には境内も暗くなり、火入れをした燈籠の灯りで神社全体が幻想的な雰囲気に包まれました。

申し遅れましたが、私は本年七月より氏子崇敬会の会長を仰せつかっております大成ラミック株式会社の山口政春と申します。

崇敬会新役員（右から4人目が山口会長）

弊社は昭和四十一年（一九六六年）東京都足立区に設立しましたが、昭和五十年（一九七五年）に白岡町（当時）篠津に本社工場を移転し、その後海外にも事業を拡大し、東証一部に上場すると共に下大崎に四つの社屋・工場を増築し現在に至っています。

旧本社工場も含め、45年の長きに亘りすべての建屋建築の際には地鎮祭で八幡神社様にはお世話になっており、今回、会社を挙げて少しでもお役に立てればという思いで氏子崇敬会の会長職をお引き受けした次第であります。

会長就任後三ヶ月が過ぎ幾つかの活動に参加させていただきましたが、初めて経験することばかりでお役に立つどころか足を引っ張っている状況ではありますが、総代会・世話人会の皆様と氏子崇敬会の先輩の方々にご指導頂きながら誠心誠意務めさせていただく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

氏子崇敬会会長　山口政春

新しくなった崇敬会の のぼり旗

白岡八幡神社

◆新体制の一年を振返って

令和二年も残すところ一カ月となりました。一年があっという間に過ぎた気がしております。

白岡八幡神社は、昨年七月に新体制となって組織も変わり人も入れ替わり運営されて来ました。社報『八幡さま』も担当者が変わり今回紙面一新して発行されます。この機会に、氏子の皆様に当神社の運営等について知って頂きたく、筆を運びました。

当神社の「奉仕者」は、神職三名、総代 世話人二八名、青年部二八名、婦人部一〇名の総勢六九名で、この陣容で神様に奉仕しております。

主たる奉仕は、月二回総代 世話人全員で境内・参道の清掃、婦人部の月一回本殿・社務所・神楽殿・お手洗いの清掃で、安心、安全に参拝できるよう頑張っています。

そして年間十四の大祭・中祭・小祭の祭事については、その完全挙行に努力しております。

次に総代世話人は、一人ひとり、祭典・お札・境内整備・お囃子・巫女舞・倉庫営繕・衣装・青年部・研修・崇敬会の係を複数担当しています。

なお参拝のお客様にご不便を来さないように、社務所の窓口を開け（火・木曜を除く日の十時から十六時の時間帯）、総代 世話人が交代で詰め、お札・お守り等の授与、御祈祷の受付等を行っています。

当神社は年々お宮参り、七五三、各種お祓いの予約が増えています。どうぞご家族、お友達皆様お揃いでご参拝下さい。

総代会会長　川島昭男

神社責任役員（中央が川島会長）

お願い

古札・お守りの納め方

◆古札納所の利用について

お札やお守りには神様の魂が込められています。授与されてから時間経過とともに少しずつ御利益が抜け出ていくといわれています。一年たったら新しいものに取り換えることをお勧めします。

古くなったお札やお守りは、白岡八幡神社では、古札納所でお預かりしています。御守り頂いた神様に感謝の気持ちを込めて初穂料と共にご返納下さい。返納された古札は魂抜きのお祓いを行った後お焚き上げをいたします。

但し、プラスチック・ビニール系のものは有害物質発生のおそれがあり、お焚き上げができません。お焚き上げができないものは魂抜きのお祓いの後、廃棄物として処分しますのでご理解ください。

※包装材や容器類はお持ち帰り下さい。

古札納所でお預かりできるもの
- 神社のお札、お守り
- 破魔矢・絵馬　・だるま
- 神棚（手持ちできるもの）
- しめ縄（わら製にかぎる）

お預かりできないもの
- 神社以外の物　・写真　・人形
- 食品　・金属　・ガラス　・陶器
- プラスチック類　・正月飾り
- 熊手　・新聞紙　・本　・衣類
- 生活用品など

令和二年「秋の大祭」
夕刻、灯籠七〇個に灯入

毎年多くの方にお越しいただき、楽しいひと時を過ごしていただいている白岡八幡神社の秋の大祭ですが、今年は十月十八日に、新型コロナウイルス感染予防対策として、内容を変更縮小し、神社関係者による神事といたしました。

しかし灯籠は、描画を白岡の水彩画クラブ水墨会の皆さんにお願いし作成しました。

当日は、夕方より七〇個の灯籠に灯をともし、本殿では、厳かな中に粛々と神事を執り行い皆様のご多幸、無病息災、新型コロナウイルス感染蔓延の一日も早い収束を祈願しました。

来年は、これまで通り、巫女舞や太鼓、お囃子、各種芸能、賞品盛り沢山の抽選会などで皆様をおもてなしが出来ますよう心から祈ります。

夕闇に多彩な絵が浮かぶ

厳かに美しく清らかに舞う
白岡八幡神社「巫女舞」

今年春からの新型コロナウイルス感染拡大、自粛要請は、当神社の巫女舞の皆さんにも大きく影響し、毎月の休日を利用しての練習もお休みを続けることになりました。

神楽殿で、厳かに美しく清らかに舞う巫女舞は、春、秋の大祭の華です。神楽は、神前で演じられる音楽や歌舞のことで祭の日に神を出迎え饗応することで神の力を分けてもらえると伝承されています。巫女舞はその大切なひとつです。

神楽殿で厳かに舞う

巫女さんが常勤の神社もありますが、白岡八幡神社では、各ご家庭のご理解とご協力のおかげで、小学三年生から中学生までの一〇名を越えるお子さんに巫女舞を学んでもらっています。

当神社の巫女舞は平成一九年に始まったのですが、青木喜久江さん、青木茂美さんという熱心な指導者に恵まれ、すでに十三年を経過し、お祭りやいろんな行事に美しい舞姿を披露してきています。

今後のコロナ禍の状況によりますが、練習の再開について検討されています。

元気に楽しく逞しく伝統を継承する
「白岡こどもお囃子会」

「白岡子どもお囃子会」は、平成一五年六月に小学生四人でスタートしました。それから一七年、おかげさまで今では小中学生を中心に高校・大学生及び社会人まで三〇名を超える会員が年齢の垣根を越えて交流。

「伝統のお囃子」を継承するため、また「新しい伝統」を作ろうと練習に励んでいます。

毎年一〇回位、八幡神社や市内のお祭りで演奏発表を行い、ご参観の皆様からご好評をいただいています。大勢のお客様の前での演奏は子供たちにとって自信となり、皆様の拍手喝采は成長の糧となり向上心を芽生えさせてくれることでしょう。

お腹に響く太鼓の振動で大人もストレス解消若返ります。今後ともドンドンどんどん御支援賜りますようよろしくお願いいたします。

神楽殿でしっかり演奏

◆練習場所　八幡神社
◆練習時間　土曜日　午後四時半から六時（見学可）
◆講師　伝統のお囃子　吉野先生　新和太鼓　及川先生
◆会費　無料
◆道具衣装　貸与

お問合わせ
巫女舞・お囃子会についてのお問合わせは神社社務所まで。
0480-48-5118

お札とお守りの話

お札は家の神棚に祀り お守りは常に身につけ 神様のご加護を戴く

新年を迎えるにあたり、幸せと実りをもたらしてくださる神様をお迎えするために家の内外を掃除する「煤払い」を行い、門松や注連飾りなどの正月飾りを準備しますが、神棚も同様に綺麗にし、ここに神社から受けた新しいお神札を納めます。

古いお札は、一年間、無事に過ごせた感謝を込めて神社に収めてお焚き上げしていただきましょう。

当神社のお札である『白岡八幡宮神璽』は「木札」「水引付」「神札」の三種がありますが、ご都合によってお選びください。

白岡八幡神社は、主神として応神天皇、仲哀天皇、神功皇后の三座をお祀りしていますが、地元の氏神様ですので神棚の向かって右側にお祀りします。

なお当神社で、伊勢神宮（天照皇大神宮）のお神札（神宮大麻）をお求めすることが出来ますので、社務所にお申し出ください。

縁起物の破魔矢は次の三種類を用意しています。

○破魔矢（赤矢）
○破魔矢（鏑付き）
○破魔矢（鏑無し）

同じく神社から授る「お守り」ですが、身につけて神様の力を戴きます。願い事別にいろんな種類があります。

御守は、願いが叶うまで身に着けても、新年に新しく交換し古い御守のお焚き上げをお願いすることもできます。

いま、白岡八幡神社で授与しているお守りは次の通りです。

○白岡八幡御守（赤・青）
○安産御守
○健康御守
○学業成就御守
○病気平癒御守
○合格御守
○開運厄除御守
○商売繁盛御守
○交通安全守護（大・中・小）
○交通安全御守（鈴付き）
○桜鈴御守
○小槌鈴御守
○勝御守
○健脚御守
○ペットの御守

御祈願に合わせ絵馬を用意しています

○縁結び
○安産子授
○学業成就
○合格祈願
○開運厄除
○病気全快

「木札」　「水引付」　「神札」

御守は社務所の窓口で

ご祈祷の話

年頭祈願は二日から斎行します

新年にあたり、家族そろってよき年を寿ぐ御祈祷や、厄除けの御祈祷など昇殿して行う「年頭祈願」をご希望の方は、正月二日より斎行できますので社務所までお申し込みください。

なお時間は一〇時より一五時まで、三〇分ごとです。

大切な人生の節目に御祈祷を

白岡八幡神社では一年を通じて初宮参りのご家族がおいでになり、秋には七五三のお祝いのご家族が多数参拝されます。車のお祓いで無事故を祈願されます。

大切な人生の節目にふさわしい御祈祷があります。

日々の生活にもいろいろの出来事、決意すること、思いがけないことがあります。このような時にも相応しい御祈祷があります。

○初宮参り　○七五三
○安産祈願　○成長祈願
○交通安全車のお祓い
○厄除け祈願
○家内安全　○商売繁盛
○安全祈願　○成人式
○結婚式　○方位除け
○病気平癒

外祭（神社外で行う御祈祷）
○地鎮祭　○家払い
○神葬祭

御祈祷予約は社務所まで。
【電話 0480-48-5118】

白岡八幡令和三年の歳事

白岡八幡神社には、摂社や末社が多数ありますので、祭事が続きます。

歳旦祭	一月一日
稲荷神社例祭（初午祭）	二月初午の日
祈年祭（だるま市）	二月一五日
例大祭・神馬神社祭	三月第二日曜日
庚申祭	三月二五日
三峯神社例祭	四月一五日
日枝神社例祭	四月二五日
防ぎ祭	五月一日
夏越の大祓（茅の輪くぐり）	六月末日曜日
阿夫利神社例祭（灯籠立て）	七月二五日
阿夫利神社例祭（灯籠崩し）	八月一七日
秋季大祭（新嘗祭）	一〇月第三日曜日
白岡天満神社例祭	一一月二五日
大祓	一二月二九日